

1 月の展示情報

開催中
～ 3/19(木) [出張展示] フォトスタジオ
スズトヨ写真展

好評のため、秋に続き、冬の写真展も開催中です。
プロの写真が切り取る冬の情景、ぜひ見においでください。



会場 | にぎわい番所ぷらっと (旧野口燃料)
平日 月～金曜 / 9:00-17:00 *最終日3/19は15:00まで

開催中
～ 3/22(日) Kamran Samimi 個展
「記還 - RECOLLECTION -」 from
アメリカ合衆国

昨年 5 月に 1 か月間の滞在制作を行った Kamran Samimi さんによる作品展。土や草を被って”忘れられていた”石や木に焦点を当て、それらと対話を重ねる中で生まれた作品たちです。

Kamran さんが一旦帰国し、芸術村を去った後も、芸術村に残された石や木の作品群は、まるでこの場所の新たな住人のように存在し続けていました。

再び来町して設営を行った作品は、木造のスペースに溶け込み、人工物の中に自然との共生を感じさせます。

石と木が織りなす銀河のような作品をぜひ、ご覧ください。



交流会も大盛況！あたたかい夜でした。



交流会では、西会津の食材を使った料理がならび、にぎやかな夜になりました。

11月28日、3週間の滞在制作の報告として、アリーシャさんとローラさんによる制作発表と交流会が開催され、町内外から約20名が来場。
当日は、抽象風景画・油彩画家であるローラさんの作品発表と解説につづき、西会津在住の音楽家・中澤ナオさんにもご協力いただき、ピアノストであるアリーシャさんとのコラボレーション演奏が行われました。これから深まる西会津の冬を意識したというローラさんの作品が空間をあたたく包み、来場者は演奏に聞き入っていました。



寒い中、約 20 名が来場くださいました

謹賀新年



旧年中は、大変お世話になりました。公募展が 20 回目を迎えた 2025 年。お迎えした滞在アーティスト 35 名、展示およびパフォーマンスの企画は 22 件開催することができました。ご来館くださった皆さま、ありがとうございました。

芸術村は 午年生まれのスタッフが3人！
パッカパッカと飛び越えて飛躍の年になりますように。

開催中
～ 3/15(日) Laura Prochowski
Alisha Redmond
作品展「THREES」 from
オーストラリア



抽象風景画・油彩画家である Laura さん、現代クラシック作曲家、ピアニストである Alisha さんによる「自然の共鳴を巡る学際的なコラボレーション『LAND MINDS』と名付けられたプロジェクトは日本においても特

別な意味をもつ”3”という数字に着目し、構想されています。テーマや、色や曲など作品においても 3 つであることが意識され、初めての日本、初めての西会津町で、土地の風土を知り、地元との交流を通して制作されたものです。

西会津の冬景色の中で、あたたかく染み込む色と音楽を奏でています。

1 月 25 日(日) 10:30～12:00



会津特産のオタネニンジンと冬の体にぴったりの 8 種の薬膳素材でシロップづくり。健康のお守りを自分で作ってみませんか？

参加費 : 3,500 円 定員 : 10 名
*申込み〆切 : 1/23

全戸配布

2026
1 月号

芸術村から



1 月の休館日

定例休館日(月)(火)

13(火)
19(月)、20(火)
26(月)、27(火)

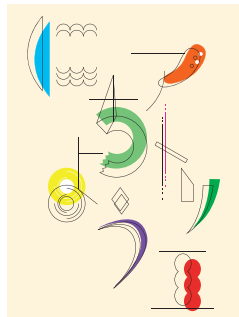
12(月・祝)は休まず
開館します。

開館時間：10:00-17:00
入館料：町民無料
*町外の方
大人 300 円 / 小人 100 円
未就学児は無料

年始
休館日

1 月 7 日(水) まで休館
1 月 8 日(木) より
開館いたします





“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて
子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。

た。ヒロロは野山に自生していて、決まった季節に刈り、乾燥させ、縄にしています。今は「ヒロロ細工」という名前で、とても繊細な手工芸として認知度も高まっています。昔は子供たちが朝からちよこつと作業するような、そして何気なく使っていたような、日常に密接したものだったそう。

さて。初めて「絢う」という作業に取り組んでくれた参加者の皆さん。最初は「あれ？できない。どうして？」と戸惑いました。が、コツを掴むと面白いように全員が没入していきます。心地よい集中力と達成感で、嬉しい気持ちと「もつとやりたい」が止まりません。さらに、これをお正月飾りにしていく工程では、実物や葉を組み合わせて、新年を迎える準備が一つ、整いました。時間はかかりますが、子ども達が表現を通して社会を知っていくことを、これからも応援していきたいなと思います。



12月のアトリエでは、師走ならではの内容を町内の方に講師をお願いして開催しました。奥川の片岡元次さんによる「もとじさんと作るお正月飾り」のレポートです。

元次さんには、山のこと自然のことを教えていただいたり、花や野菜の差し入れなど、日頃から芸術村はとてもお世話になってます。ヒロロという植物も、「てわつき」という言葉も、元次さんから教わりまし

にちようアトリエ 1月

1/4 1/11 おやすみ

1/18 「マスキングテープで窓飾り！」

マステといったら今やみんな持っているお手軽素材！そんなマステで芸術村の窓をデコっちゃおう！おうちに持ち帰る分も作ります！手も汚れないし、小さなお子さんでもできる簡単表現！こころ踊る！色々なマステをご用意してお待ちしています——！



1/25 おやすみ

薬膳シロップのワークショップがあります！

にちようアトリエは、日曜日の13:30～15:30に開いている子供をメインとした自由な遊びと学びの時間です。参加は無料、予約も要りません。また、時間内の出入りも自由です。気軽にふらりとご参加ください。

スタッフおすすめ 今月の本

YOKAI NO SHIMA

著：シャルル・フレジェ 発行：青幻舎



この本は、「じぶんカフェ」にて、お読みいただけます。

芸術村スタッフがオススメの本をご紹介します。

日本各地の祭りや年中行事は、その土地独特の個性的な衣装や風習があります。怠け者の子どもたちを探しに地上に降りてくる神々や村人たちが豊穡を願って水をかける、わりに覆われた若者。鬼の面をつけて家々を回る神々など、そこに登場する人ならざる存在や郷土芸能の衣装を撮影した本書。多くのカメラマンが撮影するような祭りに登場する場面ではなく、その土地の風景を背景として撮影することで、その衣装をまとった存在がより「妖怪」として際立って見えるところがとても新鮮で、「妖怪の島 ニッポン」という世界観が強く印象づけられる本です。



美味しいものや季節のコトとかいろいろ...

12月初めの雪景色。青空とのコントラストが最高に美しい風景でした。毎年、雪が降る頃はいつくるか、ドキドキした気持ちでいるのですが、雪が降ると、やはり美しくて見とれてしまいます。雪国に何年住んでも感動するというのは、自然のつくる景色のすばさなんだろうなと思う一方で、人間が持つ「忘れる」という能力もまた、そこに加担していると感じます。

そして、今年もまた、雪景色に感動して写真を撮ってしまうのです。



インスタ日記

今年も、芸術村の雪囲いをみんなで設置しました。年を重ねているので、壊れたりしていて、ちよつとずつ直しながら取り付けました。

今はまだ雪がないので、見上げると青空だけが美しく見える窓のようになっていますが、今年は程よい降りであってほしいと願うばかり。



【HP】



【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】



マワリテメクハ
季節の薬膳ノート

「山芋」

中医学・薬膳では、山芋は「山薬」と書いて「さんやく」と読みます。気を補い、肺を潤し、腎を補うため、冬の滋養強壮に最適な食材。腎機能高めるとされ、老化防止やアンチエイジングにも良く、寒さで弱りやすい腎を助けて生命力を高めるなど更年期障害の緩和にも有効とされています。

こんな食べ方がオススメ

山芋の落とし汁

【材料】（3人分）山芋 150g、200g（粘りの強いものがよい）、だし汁 500ml、醤油 小さじ1、塩 小さじ1/2、青のりまたはおろし生姜 少々

「つくりかた」

- 1、山芋は皮をむき、おろし金で円を描くようにすりおろす。
- 2、鍋に分量の出し汁を沸かし、沸騰直前に味付け。
- 3、だし汁が沸いたら、弱火にしておろした山芋を落としいきます。途中、箸やお玉でそつと上下を返し、1〜2分煮れば完成。器に盛り付け、青のり、またはおろし生姜を添えて召し上がれ。



【お問い合わせ】tel：0241-47-3200
mail：niav.public@gmail.com
〒969-4622 西会津町新郷大字笹川上ノ原道上 5752